

第111回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和4年9月26日(月) 13:30~15:19

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB (Zoom使用)

出席者 藤澤議長(学長)、
新井委員、金子委員、斉藤委員、坂井委員、坂田委員、寺島委員、
久元委員、平尾委員、宮田委員、木戸委員、大村委員、河端委員、
奥村委員、中村委員、吉田委員、中尾委員、上野委員

(オブザーバー) 外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、近藤副学長、
眞庭副学長、家森経済経営研究所長、荒川理学研究科長、
南医学研究科長

欠席者 齋藤委員、高土委員

議事要録について

第109回及び第110回の経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

1 令和4年人事院勧告について

令和4年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

2 国立大学法人神戸大学学則の一部改正について

学長のリーダーシップの下、本学が「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」として進化・発展するため、カーボンニュートラル推進本部やウェルビーイング推進本部などの学内組織を再編することに伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ カーボンニュートラル推進本部について、神戸大学のキャンパス全体でカーボンニュートラルを実現するというような発想はあるか？

→ カーボンニュートラル推進本部キャンパス部門において、本学のキャンパスを中心としたカーボンニュートラルに向けた諸課題の解決を図るための施策を検討しており、また、研究・社会共創部門及び教育部門のそれぞれの検討も含め、まずはキャンパス内でのカーボンニュートラルを目指し、それを神戸大学モデルとして、学外に発信することを考えている。

○ 高大接続卓越グローバル人材育成センターに移行するに当たって、博士人材の人数や割合などの目標はあるか？

- 今のところ、明確な目標は設定していないが、高校の段階から非常に研究マインドの高い生徒を入学させて、ドクターコースへの進学を目指した制度設計を考えている。
- カーボンニュートラル推進本部やウェルビーイング推進本部にはそれぞれ研究部門があるが、その部門へは学長が指名された教員が研究を行うのか、または、この分野の研究をされている教員が手を挙げられ、研究を行っていくのか？
- 本学におけるカーボンニュートラルの分野は様々な角度から研究しており、今回、総括部門が全体を俯瞰して、横串を刺して、より連携した機能的なものになるようトップダウンにて研究を推進していく。また、ウェルビーイングの分野についても、学内での研究が進んできたので、全体を俯瞰する組織を設置するものである。
- 政策研究職員のところで、例えば、学生の学習状況調査といった、学生のIRについてはどのようになっているのか？
- 現在、教育関係の政策研究職員は配置されていないが、教学IRのデータの研究は大学教育研究センターが行い、分析は教学IR推進室が行って施策に反映させるようにしている。なお、人的には十分ではないため、今後、強化補強していきたい。
また、大学の今後の戦略立案のためのIRに関しては、現在、人数が非常に少ない状況なので、人数を増やして大きくする予定であり、政策研究支援部において人事を運営したいと考えている。

3 国立大学法人ガバナンス・コードについて

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。併せて、今後の修正等については学長に一任することも承認した。

報告事項

- 1 令和5年度概算要求の概要について
令和5年度の概算要求の概要について報告があった。
 - 前回の経営協議会において、10兆円ファンドに関する事業には申し込まず、高等教育の研究力を強化する事業には申請するという方針について、現在の状況はどのようになっているのか？
 - 前回の経営協議会のときは、国立大学経営改革促進事業の案件だったと思うが、現時点において審査中であり、9月末までには文部科学省から採否が通知される予定である。なお、地域活性化人材育成事業は残念ながら不採択であったが、来年度に向けて、一度枠組みを変えて、教育プログラムを再構築し、申請する予定である。また、令和5年度の概算要求事項にある地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請に向けてしっかりと準備をしたいと考えている。
 - 神戸大学が何にチャレンジしていくのか、また、チャレンジしない場合は何をもって代替するのは、とても大事な課題だと思っているので、今後も、きちんとした対応を続けていただきたい。
- 2 令和3事業年度 重点支援枠③16大学財務諸表分析資料について
重点支援枠の1つである重点支援③の対象16大学の財務諸表について

報告があった。

- 3 2021（令和3）年度第4四半期資金運用実績報告について
2021（令和3）年度第4四半期資金運用実績について報告があった。
 - 4 環境報告書2022について
環境報告書2022について報告があった。
 - 5 神戸大学ファンド創設に向けた進捗状況について
神戸大学ファンド創設に向けた進捗状況について報告があった。
 - 大変結構な取組だと思うので、是非、スタートアップの支援を行っていただきたい。この取組に関して、実際の投資案件の決定について、神戸大学からは関与されるのか、或いは投資委員会の方々が決定されるのか？
 - 今回、投資の決定は、投資委員会の3名に託しているが、神戸大学を中心としたシーズの支援、神戸市及び三井住友銀行との三者協定を意識しながら、本ファンドをスタートしていきたいと考えている。
 - 6 学長指示書に基づく理事の業務について
学長指示書に基づく理事の業務について報告があった。
 - 7 その他
本学の人文・社会科学分野における学士課程教育の検討状況について報告があった。
- ◎ 次回は、令和4年11月24日に開催予定。